

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2002-524583(P2002-524583A)

【公表日】平成14年8月6日(2002.8.6)

【出願番号】特願2000-568810(P2000-568810)

【国際特許分類】

C 08 F 20/30 (2006.01)

C 07 C 69/54 (2006.01)

【F I】

C 08 F 20/30

C 07 C 69/54 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

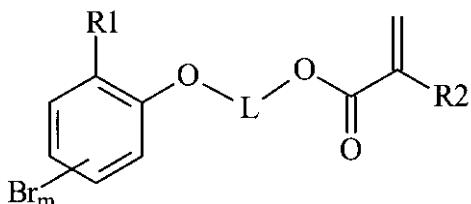
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式、

【化1】



(式中、mは1~4であり、R2は-Hまたはメチルであり、R1は少なくとも2個の炭素を有する直鎖または分枝鎖のアルキルであり、Lは直鎖または分枝鎖アルキレンである。)のモノマーを含む、重合性組成物。

【請求項2】前記組成物が室温で液体である請求項1に記載の重合性組成物。

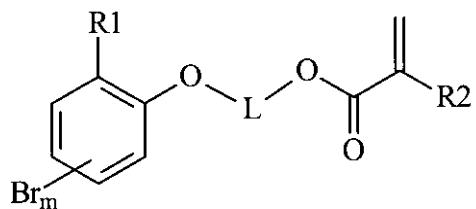
【請求項3】室温で前記組成物が加工できる室温粘度を有する請求項1に記載の重合性組成物。

【請求項4】約20~約5000センチポアズの範囲の粘度を有する、請求項1に記載の重合性組成物。

【請求項5】少なくとも1.50の屈折率を有する、請求項1に記載の重合性組成物。

【請求項6】式、

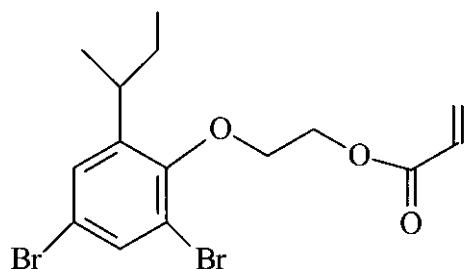
【化2】



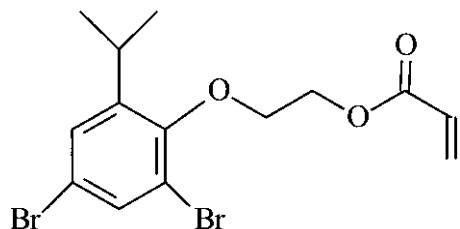
(式中、 m は1～4であり、 R_2 は- H またはメチルであり、 R_1 は少なくとも2個の炭素を有する直鎖または分枝鎖のアルキルであり、 L は直鎖または分枝鎖アルキレンである。)のモノマー。

【請求項7】

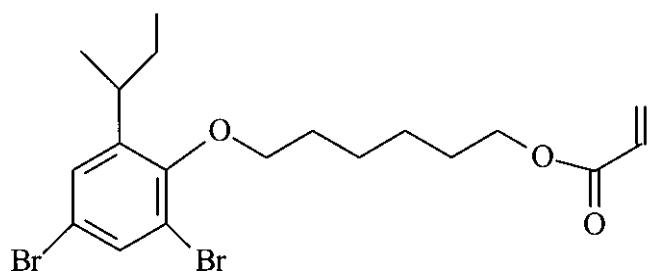
【化3】



【化4】



【化5】



および

【化6】



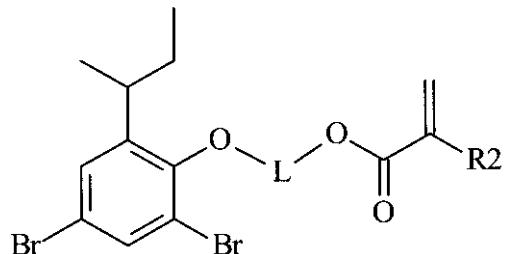
から成る群より選択される請求項6に記載のモノマー。

【請求項 8】 R 1 が約 3 ~ 約 12 個の炭素を有するアルキルである請求項6に記載のモノマー。

【請求項 9】 R 1 が 3 または 4 個の炭素を有するアルキルである請求項6に記載のモノマー。

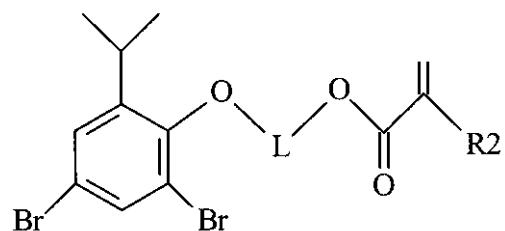
【請求項 10】

【化 7】



および

【化 8】



(式中、L は 1 ~ 約 12 個の炭素を含み R 2 は水素またはメチル基である。) から成る群より選択される請求項6に記載のモノマー。

【請求項 11】 L が約 2 ~ 約 6 個の炭素を含む請求項6に記載のモノマー。

【請求項 12】 2 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - s e c - プチルフェノキシ) エチルアクリレート、6 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - イソプロピルフェノキシ) ヘキシリルアクリレート、2 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - s e c - プチルフェノキシ) 2 - メチルエチルアクリレート、2 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - s e c - プチルフェノキシ) 1 - メチルエチルアクリレート、6 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - s e c - プチルフェノキシ) ヘキシリルアクリレート、2 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - イソプロピルフェノキシ) エチルアクリレート、6 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - ドデシルフェノキシ) ヘキシリルアクリレート、2 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - ドデシルフェノキシ) エチルアクリレート、2 - (2, 6 - ジブロモ - 4 - ノニルフェノキシ) エチルアクリレート、2 - (2, 6 - ジブロモ - 4 - ドデシルフェノキシ) エチルアクリレート、6 - (4, 6 - ジブロモ - 2 - s e c - プチルフ

エノキシ)ヘキシルメタクリレート、6-(4,6-ジブロモ-2-イソプロピルフェノキシ)ヘキシルメタクリレート、2-(4,6-ジブロモ-2-sec-ブチルフェノキシ)エチルメタクリレート、2-(4,6-ジブロモ-2-ドデシルフェノキシ)エチルメタクリレート、2-(2,6-ジブロモ-4-ノニルフェノキシ)エチルメタクリレート、2-(2,6-ジブロモ-4-ドデシルフェノキシ)エチルメタクリレート、およびそれらの混合物から成る群より選択されるモノマー。